

写真コンクール（第38回）

12月11日(火)、写真コンクール審査会がNHK文化センター講師大熊信雄氏を審査委員長に、技術委員会担当分科会のメンバーにより執り行われました。

応募作品44点、出品者数24名の中から厳正なる審査の結果、金賞1点、銀賞2点、銅賞3点、佳作5点の計11点が選ばれました。

参加者の皆様、ご協力ありがとうございました。

次回の写真コンクールにもたくさんの楽しい作品、力作の出品をお待ちしております。

金賞



はっぱ ふれふれ
柴田 師光(住友電設㈱)

〈講評〉

子ども3人のポーズが違うのがいい。表情もよくほほえましいです。

写真コンクール（第38回）

銀賞



乱舞

山本 広次(株)九電工OB)

〈講評〉

季節と時間のタイミングがよく撮れている。蛍だけでなく、背景もよい。蛍が乱舞するタイミングを逃さず撮れている。



絶技に酔う

宮田 俊彦(三球電機株)

〈講評〉

シャッターチャンス、ピントが素晴らしい。空の色がとてもよく出ていて、煙が強調されていてきれいです。

写真コンクール（第38回）

銅賞



「満面笑顔」でお祈りです！
黒川 清香(株きんでん)

〈講評〉

おもしろい写真、良質です。角度ピントがいいです。
満点

深まりゆく秋
柴田 裕子(住友電設株)

〈講評〉

人物が入っていて、ピントのあわせ方がいい。季節感情緒感があり、渋い作品です。



ティータイム
島田いすみ(住友電設株)

〈講評〉

すばらしい写真。ネコをここに入れたのはすばらしい。芸術的な作品です。



写真コンクール (第38回)

佳作



元服の春
谷 美由紀(株佐電工)

〈講評〉

表情がよく見えるようにアングルをもう少し工夫すれば、もっとよくなります。



たんぽぽ姉妹
立石 晃(株平和電興)

〈講評〉

構図がいい。子どもの表情もいいです。タンポポを夢中で飛ばしているほほえましさ伝わります。



春の陽
小川 聖喜(東光電気工事株)

〈講評〉

光の使い方、人物の表情、ピント・露出がいいです。少し中心からずらした構図にするともっと良くなります。



右向け右
楢原 豊子(株平和電興)

〈講評〉

アイデアがいい。ピントも露出もいいです。犬の表情があれば、もっと良かったです。



蜘蛛の巣

中野 正三(東光電気工事株)

〈講評〉

電気工事関係ならではのアングルで、おもしろい作品です。ピントを絞り込んで、森の入れ方もちょうどいいです。



百瀬 高明 (44才)

会社名 日本リーテック株式会社
九州営業所
就 任 平成29年9月1日
九州営業所長
出身地 長野県松本市
人生観 聞くは一時の恥、
聞かぬは一生の恥
趣 味 ウォーキング、ジョギ
ング

自己紹介

平成29年9月1日付で九州営業所長に着任いたしました百瀬高明と申します。宜しくお願い致します。

平成9年に入社し、西日本支店工事課（大阪）へ配属となり、道路標識工事に従事しました。当時工事範囲は広く、北は滋賀県の琵琶湖近く、南は和歌山県の串本町、西は兵庫県の岡山との県境付近まで、現場に行くことがありました。当時、先輩方について行くのがやっとでした。

その後、6年目で、中部支店に異動になり、愛知県にて安全施設関係の仕事に従事しました。仕事に慣れてくると出張も増え、静岡県、岐阜県、石川県、三重県にも行くことがありました。

私の中の大きな転機は、平成17年に配置転換で電気工事（交通信号機関係）に従事することでした。今まで、電気の事など全く知識がなかったので、相当苦労いたしました。目に見えない、電気を扱うという不安があったことを思い出します。それでも、使う資材の名前を覚えることから始め、図面の見方、書き方を先輩から教わり、少しずつ知識と経験を積み重ねました。

中でも、印象に残っている現場は、愛知県内にある10キロ程の道路開通に伴う電気工事に約一年従

事したことです。路線での工事でしたが、打合せ先が10社以上あり、朝から晩まで、打合せで一日が終わる日もありました。時には、夜間工事で作業が、翌日の昼までかかったこともありました。今、思うと当時は、体力があったなと思います。いろいろありましたが、社員と協力会社のおかげで、道路の開通に間に合わせることができました。

愛知で14年過ごし、平成29年9月に九州へ転勤となり、同時に所長を任され現在に至ります。初めての単身赴任、初めての九州の生活が始まりました。日々勉強という気持ちで、業務に取り組んでおります。分からないことも多いですが、所員の助けもあり、何とかこなしています。また、仕事も大切ですが、せっかくの九州ですので、いろいろ観光もしてみたいと考えています。入社してから、いろいろな場所にいましたが、何とか適応できているのが、私の長所ではないかと思っています。

とりとめのない自己紹介になりましたが、今後ともご指導ご鞭撻のほどをよろしくお願い致します。





中野 正三 (66才)

会社名 東光電気工事株式会社
九州支社
就 任 平成29年10月1日
支社長
出身地 岐阜県
人生観 「成せば成る」
趣 味 家具 木工 加工
(木材の加工が好き
で、棚・収納箱の制)

チャレンジしよう!

「会員随筆」の依頼を受け、上段の横顔紹介で趣味を求められ「エッ!」私の趣味はなんだろう、と思いだしたのが入社時の社内報。同様の質問を受け、そこにはオーディオ・釣りと記載しました。

写真は入社当時の私ですが、お恥ずかしながら今と昔の変貌ぶりをご確認ください。確かにその当時はオーディオを聴く方ではなくアンプ・プレーヤーボックス・スピーカーボックスなど音響システムすべて手作りすることを楽しんでいました。その木工加工の技は、昔は音響の極みを求めて製作をしていましたが今の趣味木工は、愚妻からの指示によるもので棚・収納箱などを製作させていただいております。やはり「建設業という物創りに共通するところがあるのだな」と、この原稿を書きながら深く感じております。

入社して数年は東京周辺、その後20年間は茨城県内の原子力施設の電気工事に従事し、その後、東京→名古屋→東京→タイ→インドネシア→タイ→東京→2017年ここ福岡に赴任をいたしました。それぞれ



アンプは真空管式 KT-88
プレーヤーはガラード401
5面体スピーカも自作

の地で多くの方たちとの出会いがあり一緒に取組んでまいりました。

名古屋では2011年3月東日本大震災があり多くの方が被災されました。地震発生から2日後、本社から現場ではガソリンがなく困っている。「各支社は可能な限りガソリンを送るように」との指示。その指示を受け、何とかしなければとの思いで16,000Lタンクローリー車1台をチャーターし、14,000Lのガソリンと2,000Lの軽油を調達することが出来、3月19日には緊急支援車両として現地に燃料を運ぶことが出来ました。2日間で全行程1,600kmを走破した運転手さんは、「東光さんがこれから行けと言えは今からでも出発します。」とのその言葉には本当に感謝をする思いで今でも鮮明に脳裏に残っています。

同年11月にはタイの大洪水があり、多くの工場が、水没をしました。その復旧工事に人材が不足している。」との指示。海外に行ったのは新婚旅行のみの私。2012年3月59歳の春、不安と期待で、バンコクの地を踏みしめました。地理も言葉も何もわからず、その状況で、最初はバンコク北部のアユタヤ県バンパイ工業団地の復旧工事を担当し、身振り・手振りで現地の職人さんたちとケーブルの引替え・盤の改造などを行い復旧工事は順調に進みました。名古屋の燃料移送もそうですが、バンコクでも同様、一生懸命の姿勢はなんとかなることを実感致しました。ある日、ローカルの職長さんが、「ナカーノさんプレゼント」といって赤いスポーツシャツを戴きました。その日は私の60歳の誕生日、誰かに聞いたらしく赤いチャンチャンコの代わりとのこと、本当に嬉しく、涙したことを思い出しました。

そのような私が福岡の地に赴任をいたしました。まだまだ、一年生の若輩者であります。これから皆様のご指導を頂き、そして福岡電業協会の為に少しでもお役に立つことが出来ればとの思いで一生懸命取り組む所存で御座います。どうぞ皆様、よろしくお願いいたします。

④③

“地の利は人の和にしかず”



中野 正三

①岐阜県内線第四課
②岐阜県中部工業大学
③科学電気工学
④オーディオ釣り

昭和50年4月社内報

①出身地 ②出身校 ③信条 ④自己PR 何故か未記入

【参 考】

東北関東大震災 緊急指定物資（燃料）輸送計画

1. 目的

表記大震災復興の為の緊急指定物資として、被災地に向け復興車両用燃料を輸送する為の計画書を策定する。

2. 輸送関係先

輸送計画を実施するための関係者は以下の通り。

- 1) 緊急指定車両所有者：(株)〇×運輸 営業第1グループ 中屋

TEL03-

車両手配マネージャー畑山 TEL0562-

- 2) 燃料依頼先：(株)×〇燃料 諸江 TEL052-

- 3) 燃料卸売先：(株)〇〇商事 愛知県海部郡飛島村

↓

TEL052-

- 4) △△商事(株) 名古屋ターミナル 愛知県海部郡飛島村

- 5) 燃料輸送先：□□商店 宮城県仙台市青葉区

TEL022-

- 6) 宮城県災害対策課本部 立会い代務者 茂泉様

- 7) 受取責任者 東北支社 正：佐々木博 副：岡崎孝男

TEL022-234-2121 佐々木携帯：090-5839-7257

岡崎携帯：090-3122-7578

- 7) 発送責任者 中部支社 正：中野正三 副：山下裕

TEL052-251-1531 中野携帯：090-3310-3999

山下携帯：090-7307-5631

3. 輸送車輛・給油各種諸元及び車両運転者

【輸送用車両：16kLタンクローリー】

- 1) 車両番号：名古屋 800 か 1234 ローリーNo. EQT1234

- 2) 給油内訳：ガソリン 14,000ℓ 軽油 2,000ℓ

【給油先】

- 1) 給油場所：名古屋市海部郡飛島村

- 2) 給油コード：「丸紅エネックス・・・」レギュラーガソリン14,000ℓ+別給油所にて軽油2,000ℓ

【車両運転者】

- 1) 車両運転手（正）：(株)〇×運輸 神永 政裕

※ 災害復興用として輸送、現地にて宮城県災害対策本部 代務者との立会いを行う。

(タンクローリーは1 Down契約)

4. スケジュール

- 1) 荷だし 平成23年3月18日（金） 05：30 海部郡飛島村東浜（中野・山下 荷だし立会い）

- 2) 荷受け 平成23年3月19日（土）午前中（9:00頃到着） 仙台市 小山商店（岡崎 荷受け立会い）

※到着1時間前に 岡崎部長に事前連絡を行う。

- 3) 帰路 平成23年3月19日（土）深夜 知多事業所 到着予定 中野・山下（22：00）帰還出迎え

5. 関係先届け出書

【緊急支援車輛の届け出】

- 1) 届け出先：愛知県公安委員会
- 2) 届け出書：緊急通行車両確認証明書
- 3) 通行経路：出発地（名古屋）

目的地（東北・関東 新潟県を含む）全域

- 4) 車両用途：被災地へのガソリン輸送



シート：210×150m/m

第 27 号		平成23年 3月 16日
緊急通行車両確認証明書		
愛知県公安委員会		
番号欄に表示されている番号	名古屋 800 万 2250	
車両の用途（緊急輸送を行う車両にあっては、輸送人員又は品名）	被災地へのガソリン輸送	
使用者	住所	氏名
中野 正三	名古屋市中区 1-33-2	中野 正三
通行日時	平成23年 3月 17日午前 時 から 平成23年 3月 16日午前 時 まで	
通行経路	名古屋港 北陸自動車道 関越自動車道 東北自動車道	
備考	愛知県警察本部交通部交通課	

6. 輸送ルート（3/18出発 同日新潟（泊）、3/19仙台着 給油後同日帰還）



輸送ルート 全行程 ≒ 1,600 km



出発地：飛島埠頭



目的地：宮城県仙台市青葉区 小山商店

3/18 出発IC：伊勢湾岸自動車道_飛島IC→中央道（飯田IC）→長野道→北陸自動車道（新潟IC）→新潟（泊）【走行距離≒600 km】

3/19 出発IC：磐越自動車道_新潟IC→東北自動車道→仙台宮城IC→仙台市内【走行距離≒200 km】⇒

東北自動車道_仙台宮城IC→首都高速道路→東名自動車道→伊勢湾岸自動車道_東海IC→ 【走行距離≒800 km】

7. 帰還ルート他

運転者は休憩地ごとに進行状況を山下へ連絡し、随時追跡し現在地を把握する。

【全行程が安全で無事故にて完了することを切に願うものである。】 2011/03/17⇒3/21修正 記：中野正三



横顔紹介と随筆

災害支援復興用燃料発送状況（平成23年3月18日（金））



No.1 油槽所【名古屋ターミナル】



No.2 ローリーへの給油待ち状況



No.3 レギュラーガソリン14,000ℓ給油状況



No.4 軽油 2,000ℓ給油状況



No.5 中部支社 総務部が市内/県内をかき集めた愛の支援物資(レトルト食品、缶詰、明宝ハムなど)



No.6 当社チャーターの緊急指定車両「名古屋800か2250」16kℓタンクローリー



No.7 輸送の安全をたくし、無事をお願いする

ドライバー：(株)〇×運輸
中部支店 知多事業所
神永 政裕 さん
3/18 新潟泊⇒3/19早朝出発
到着は 3/19午前中予定



No.8 一路 宮城に!! (無事到着を祈る9:10)

災害支援復興用燃料受取・帰還状況（平成23年3月19日（土））



No.9 仙台市 小山商店 GS 全景



No.11 ローリーからの給油状況



No.10 ローリー無事到着 AM9:20頃



No.12 宮城県へ寄贈する(災害復興用ガソリン)



No.13 無事 知多事業所へ帰還した神永ローリー
【3/19 22:00 無事到着】



No.14 お帰りなさい。ご苦労様でした。



No.15 事務所で自社/他社のローリーの被災状況と
今回の運行状況を報告する神永ドライバ。
一級国道においても、陥没、隆起箇所など
数多くあり復興には多くの時間がかかるとの報告。

1日目11時間600km、2日目18時間で1000kmを
無事走破した神永さんを「知多事業所」にて拍手で迎える。
さぞ、お疲れのことかと顔を覗くと疲労感とは全く無し！！
（写真No.15参照）

さすがプロですね～！！の問いに、神永さんは
「仙台で東光さんの心からの出迎えに感激し、今回、
このガソリンを運ばせていただいて本当に良かったです。
東光さんのためなら、いつでも、どこでも、これからでも
出発しますよ！！」との暖かい言葉を戴きました。

無事故での輸送 本当にご苦労様でした。
感謝、感謝 この気持ちでいっぱいです。

2011/3/21





小林 幸 (56才)

会社名 九州電気システム株式会社

就 任 平成30年6月27日
代表取締役社長

出身地 福岡県小郡市

人生観 明日は明日の風が吹く

趣 味 ゴルフ、音楽鑑賞

おかげさまで30周年！

2018年6月に九州電気システム株式会社の4代目の社長に就任いたしました小林です。どうぞよろしくお願いいたします。

弊社は、2019年の今年、おかげさまで創立30年を迎えます。1989年（平成元年）、前身の大栄電業から社名を変更し、J R九州グループの一員として再スタートを切りました。平成もいよいよ残りわずかとなりましたが、多くの方々からのご支援ご協力を賜り、この激動の平成をなんとか無事に乗り越えて来ることができました。

さて、昨今においては、東京オリンピック・パラリンピックを来年に控え、全国的にインバウンド対応を始めとした様々な分野でのインフラ整備が進められていますが、それと同時に「働き方改革の実現」に向けた取組みも推進されています。これは「投資やイノベーションによる生産性向上とともに、就業機会の拡大や意欲・能力を存分に発揮できる環境を作る」ためのものとして始められたもので、各社様とも様々な検討や取組みを計画されていることと思います。

しかし、この施策を実現させるためには、これまでの画一的なモノの考え方ではなく、柔軟な発想と新しい技術の導入などが必須であり、仕事の進め方や施工方法だけでなく全体的な仕事のシステムチェンジを実行しなければなりません。技術者の確保が最も大切であることは言うまでもありませんが、

自らの手で自らの仕事を新しいものに変えていく力が必要不可欠であり、そのような力を持つ社員の養成や育成が非常に重要な課題となっています。かのダーウィンの言葉「変化に対応できるものだけが生き残る」にもあるように。

そして、何よりもすべてに優先して存在するのは「安全」です。私たちは常に危険と隣り合わせで生活していますが、その危険が限りなく少ない状態を「安全」と呼んでいるだけです。したがって、「安全」はそこにあるものではなく創り上げていくものであり、少しでも気を緩めると脆くも崩れ落ちるものなのです。もちろん弊社においても最重点取組み項目として取り組んでいます。近年においては自社だけでなく、協力会社様も含めた関係者全員への安全指導と教育を強化しています。特に、弊社の安全担当が直接協力会社様に出向いて行う教育（これを弊社では「出前教育」と呼んでいます）に力を入れており、関係者全員が本当に理解するまで指導するということを目標として実施しています。

これからも「安全」をすべてに最優先させることを基本に、新しい発想を持ち、知恵を絞り、そして皆さまからのご指導をいただきながら、地域の発展に寄与できるよう努めてまいります。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。





東 智之 (44才)

会社名 藤工業株式会社
福岡営業所
就 任 平成24年7月
本社事業部長
出身地 北九州市小倉北区
人生観 行動無くて成果なし、
成果なくして成長なし
人生プラマイゼロ
趣 味 ゴルフ

自己紹介

福岡電業協会 会員各社様、初めまして、藤工業株式会社 本社事業部長を仰せつかっています東（あずま）と申します。以前当協会には、別の者が担当させていただいておりましたが、退職に伴い、私が後任となりましたので、何卒宜しくお願い申し上げます。

弊社は、北九州に本社を置き、東京・名古屋・大阪の各支店と北九州の本社事業部の4事業部にて構成され、本社事業部内の福岡営業所が当協会に入会させて頂いています。又、北九州では北九州電設協会に入会しており、恐縮ながら理事を務めさせて頂いております。

私自身は、北九州市小倉北区の出身で、小倉工業高等学校電気科を平凡な成績で卒業し、平成5年3月17日に入社しました。本来ならば4月1日に入社予定が、急なマンション設計案件が入った為、当時本社事業部の工事課長（現専務取締役）から入社を早められ、入社当日からドラフターで設計図面を描かされたのを辛い思い出として残っています。何故、入社日が簡単に変更されたのかと申しますと、私の実家が電気工事会社を営んでいまして、当時から藤工業の仕事もしている関係で、私が学生の頃から当時の工事課長が頻繁に事務所や実家に遊びに来られていた中、「5年だけ修行として藤工業に来ないか」とのお声掛けを頂き、父とも相談した結果、入社への運びとなりました。そんな関係もあり、急遽入社日を変更されても「NO」とは言えず、渋々入社し、いつのまに

か5年のはずが、26年も勤めているという状況です。

その後、2年ほど北九州でマンション建設に携わり、私が21才の時、会社の方針で「福岡営業所を開くから基盤を創ってくるよう」社命を受け、宿舍兼事務所として2DKのアパートに3年ほど暮らしながら現場施工をしてきました。当時は施工するにも協力会社が居らず、タウンページ検索と資材業者様のご紹介で、何とか施工して頂く協力会社を1人で探して回りながら工事を進めるという形で、大変苦勞をしてまいりました。そういった苦勞を経て、更に社員・協力会社の協力があって、今日の福岡営業所がある考えると、非常に感慨深いものがあります。

趣味は、学生の頃からやっていた「ゴルフ」です。一時期プロを目指していたのですが、高校1年の夏、九州ジュニア選手権の2番ホールでのティーショットで、7連続OBを出してしまい、あまりのショックで一旦ゴルフを止めてしまいました。本格的に再開したのは、母から譲ってもらった門司ゴルフ倶楽部の会員になった30才過ぎの頃です。それからは、サラリーマンとしての月一ゴルフを楽しんできましたが、ここ数年は競技ゴルフに目覚め、昔の様な良い緊張感でゴルフをする事が、最大の楽しみとなっております。

以上、とりとめのない自己紹介となりましたが、まだまだ未熟な私でございます、諸先輩方から色々な事を学びながらやって参りますので、ご指導ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。

